

2021年度

関西学院大学 大学院ウィーク 特別企画

(大学院ウィーク:2021年6月12日(土)~6月18日(金))



関西学院大学大学院
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

パネル
ディスカッション

プロフェッショナルスクール としての大学院とは？

～研究者養成のためだけじゃない！
グローバル化社会で求められる大学院の力～

国連機関ならびにグローバルに事業展開する企業で活躍する若手の関学卒業生が、これまでのキャリアパスや大学院進学の原因、現在の活動内容等を大学時代の過ごし方も含めて語ります。大学院の選択、大学院に行くタイミング、大学院で得られる力など、急速にグローバル化する社会で働くうえでの大学院進学の意味について考えます。

6月12日(土) 13時30分～14時40分



パネリスト:

西村 幸子さん(国連開発計画(UNDP)カンボジア事務所勤務)
2008年 関西学院大学(総合政策学部)卒業、英国大学院修了

パネリスト:

織田 雄太郎さん(グローバル物流企業勤務)

2019年 関西学院大学大学院(国際学研究科)修士課程修了および副専攻「国連・外交コース」修了



司会:村田 俊一教授

関西学院大学 国際機関人事センター長、総合政策学部教授
前国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)事務局次長



■事前申込制(申込締切:6月11日(金)正午)

URLまたはQRからお申し込みください <https://forms.office.com/r/MtRy6sGWTQ>

■会場:オンライン(Zoom Webinar) ※前日(6/11(金))午後、お申込みの方に会場をご案内します。

パネル
ディスカッション
終了後(15時00分～)

大学院 副専攻「国連・外交コース」説明会開催

※詳細はこちら↓

https://www.kwansei.ac.jp/unfa/unfa_017946.html



【お問い合わせ】

・本パネルディスカッション、「国連・外交コース」説明会について:国連・外交統括センター unfa@kwansei.ac.jp
・「大学院ウィーク」について:入学センター(0798-54-6135)

登壇者プロフィール

西村 幸子さん

2008年 関西学院大学 総合政策学部 卒業
 民間企業を経て、英国の大学院で修士号(ガバナンスと開発)を取得
 2019年よりJPO*で国連開発計画(UNDP)カンボジア事務所にてGovernance Officerとして勤務

織田 雄太郎さん

2017年 国際基督教大学 教養学部 卒業
 2019年 関西学院大学大学院 国際学研究科 修士課程および副専攻「国連・外交コース」修了
 2019年よりグローバル物流企業に勤務

村田 俊一 関西学院大学国際機関人事センター長、総合政策学部教授

関西学院大学 法学部 卒業、ジョージワシントン大学院 国際政治経済学研究科 修士課程・博士課程修了、
 ハーバード大学院ケネディスクール 公共行政組織管理コース修士課程修了
 前国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)事務局次長

◆日本人が国際機関職員になるための主な方法

日本人職員約880人のうち5割近くがJPO出身者です。

	空席公募	JPO派遣制度	国連事務局YPP
実施機関	各国際機関	外務省	国連事務局
年齢制限	特になし	35歳以下	32歳以下
学歴	修士号以上 (※修士号+追加的な職歴2年で応募可能なポストもある。)	修士号以上	学士号以上 (※大学は既卒であること。大学最終学年では応募できない。)
職歴	2年以上	2年以上	問わない
ポイント	毎日多くの国際機関から様々な空席公募が出るので、随時応募することができる。	日本人の中だけでの競争であるため、空席公募より倍率が低い。	学士号のみ、職務経験無しで応募可能。

※JPO派遣制度とは？

JPO(Junior Professional Officer)派遣制度とは、国連で正規職員として勤務することを目標に政府が日本人を国際機関に一定期間派遣する制度で、国連職員となるための登竜門と言われています。JPO派遣候補者の平均年齢は31.4歳(2019年度実績)。

JPO応募資格

- ・35歳以下
- ・修士号以上の学歴
- ・2年以上の職歴
- ・日本国籍
- ・職務遂行可能な英語力
- ・将来にわたり国際機関で働く意思

◆専門分野の例

開発・人権・人道・難民・教育・保健医療・平和構築・モニタリング評価(M&E)・環境・工学・理学・農学・食糧・水産・薬学・建築・防災・緊急援助・都市計画・水衛生・原子力
 人事・財務・会計・監査・総務・調達・広報・渉外・IT・統計分析・法務・危機管理等

(外務省 国際機関人事センター
 「国際機関で働こう」より抜粋)



◆グローバル化社会で求められる力とは？

国際機関や海外企業等において一定レベル以上の職位に就くためには修士や博士の学位取得が求められることが多くなっていますが、企業の管理職等に占める大学院修了者の割合は、米国の40~60%に対し、日本は約6%と、諸外国に比べて低い状況にあります(出典:平成31年1月22日中央教育審議会大学分科会「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿」)。人的な流動性が高まり国際的な競争が激化するなかで、国際機関でも民間企業でも、社会が変化しても、普遍的に活用できる能力を身に付けることが求められています。そのような能力とは何なのか、大学院進学の意味について考えます。